

指定障害者支援施設

さやま園 ▼▲● だより

GOOD DAY SUNSHINE PROJECT!



No.210

2020.Jan.



荒井園長 編

園長 NOTE



令和 2 年 新年を迎えて

新しい元号でのお正月を皆様どうお過ごしになりましたでしょうか？

昨年は台風や豪雨などによる被害が多発し、大勢の方が不自由な生活を余儀なくされました。被災者の皆様には、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、話は変わりますが、昨年の 10 月にさやま園のパンフレットをリニューアルしました。ミッション・ビジョン・バリューでは、ミッションの中で、豊かな生活に留まらないように「豊かで文化的な生活」、さらに生活の場として当たり前ですが、一番大切な「生活する事」の支援を掲げました。

また、さやま園のモットーとして「笑顔で明るく、元気で楽しく」「Make a New finding」(新しい発見をしましょう)という言葉も掲載しました。どれもがさやま園の職員として第一に考え、そのことを実行していくことで利用者とともに歩いていくことが出来るものと考えています。

さやま園に再度着任し 3 年が経ちます。その中で改めて実感することがありました。それは入所施設の重要性です。

以前に施設解体論が叫ばれ、入所施設そのものを否定する方がいました。今でもいるかもしれません。入所施設に代わる生活の場を作り

上げられればそれが一番なのでしょうが、グループホームでもその役割は果たせていません。

入所施設の職員は 24 時間 365 日、曜日も関係なく勤務しています。早番、日勤、遅番、夜勤の変則勤務をこなすことは、单身でも家庭を持ちながらも大変なことです。

しかし、入所施設の役割は、自立するための生活を学ぶことが出来る場所であり、家族が地域で安心して生活を続けるためのファミリーサポートも担っています。そして、なによりも家庭での生活が難しくなった方のセーフティネットとしての役割があります。

障害福祉を目指す多くの学生は、地域支援(相談や就労)が主眼となっており、入所施設を希望する学生は少なくなっています。しかし、入所施設は障害のある方が人らしく生き生きとした生活をするための障害福祉の原点であり、利用者の人生・命をも繋ぐ大きな役割と責任を担う仕事です。

私はこの仕事に誇りを持っています。ともに働く仲間から感謝します。幸せを与えてくれる利用者へ感謝します。

今年もよろしくお願いいたします。

さやま園の封筒



さやま園の利用者皆さんの力によって、さやま園の封筒は作られています。

どういことかといいますと、さやま園で使われている封筒には、利用者皆さんの日々の活動・生活の中でうまれた作品たちがプリントされています。そう、さやま園の封筒はオリジナルなのです。今回はさやま園の歴代封筒を紹介していきます。

A 大きな魚に潜水艦が描かれた封筒。彼が描いた海の世界は、ブルーの封筒のなかで生き生きと輝きを放っています。

B カタツムリが描かれた作品。彼女が描き出したカタツムリたちはどこへ向かっていくのだろうか。そんな想像を膨らませることができます。

C 人間だろうか、ロボットだろうか。色々なものがたくさん描かれた愉快的な封筒。
封筒のカラーに採用されたのはオレンジ色。オレンジ色も相まって、彼女が描いた作品は愉快地に走り回っているかのようです。

D 大きな大根が描かれた作品。彼自身がとった大根なのでしょうか。
大根ほりという体験はきっと彼の心の中に強烈に残っていたのではないのでしょうか。

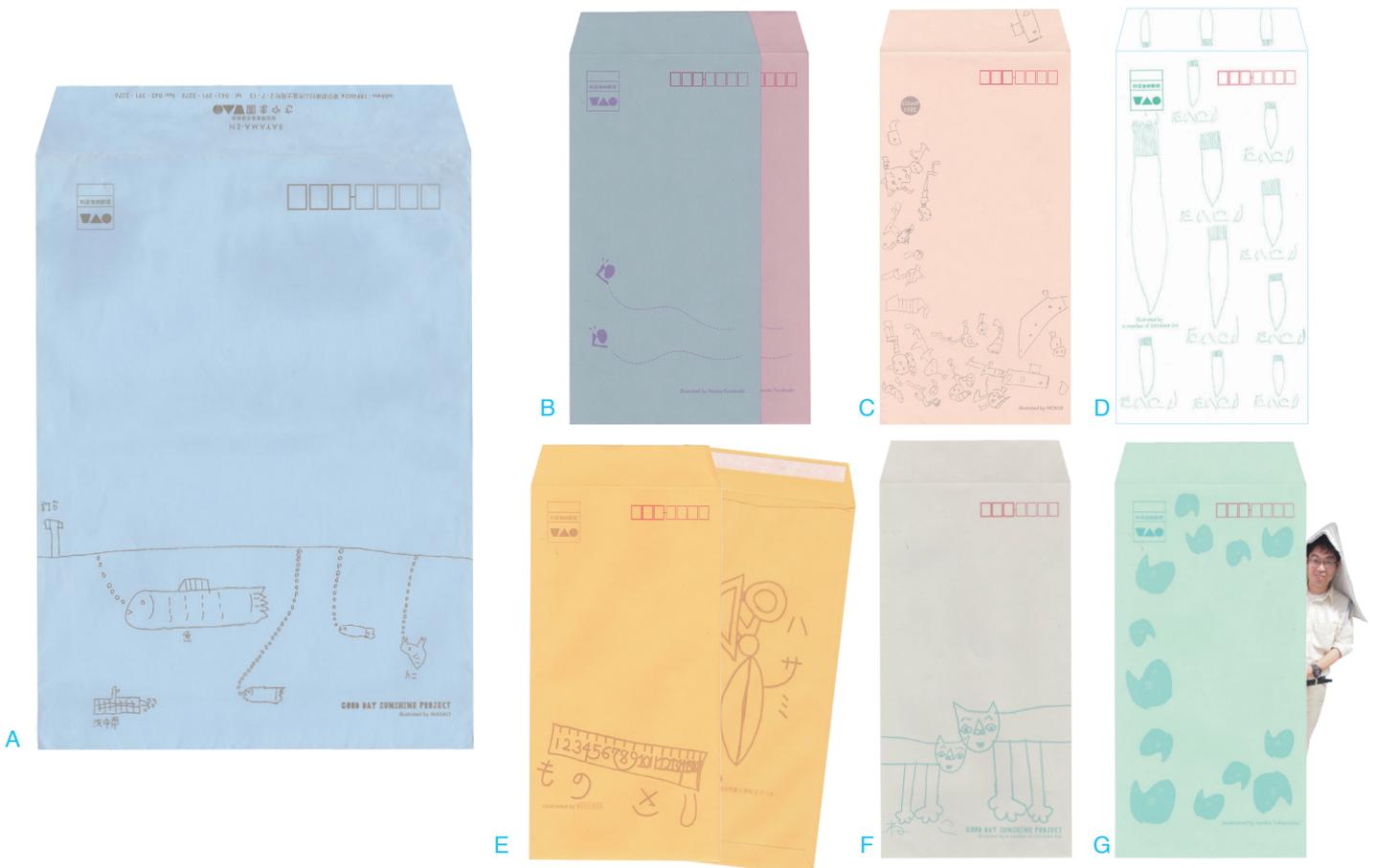
E ハサミやものさし。文房具が描かれた封筒。ハサミ・ものさしが彼の目にとまり描かれました。
どこの家庭にもあるだろうハサミ・ものさしにスポットがあたり、封筒になる。きっとこれもさやま園ならではのオリジナル封筒。

F その他にニヤリと笑う猫がプリントされた封筒も。

また今年の9月にも園内で投票が行われ、新たな封筒が誕生しました。

G 新たな封筒には、なんとさやま園で作られているブタレーヌがたくさんプリントされています。この新しい封筒を見て、ブタレーヌってどんな味がするだろう、そんな想像を膨らませてみては。

さやま園の利用者皆さんの目に留まるものは本当に様々です。だからこそ日々色々な作品が誕生しています。今後はどんな作品が、どんな封筒が誕生するのでしょうか。可能性は無限に広がっています。



おい たくあんの美味しい食べ方

11月14日、今年もさやま園たくあん事業部と利用者16名で明野へ大根堀りに行ってきました！中には大根堀りを頑張りが過ぎて職員に止められてしまう人も…！
そんな一生懸命掘った大根が美味しいたくあんとなって食卓へと届きます。

10月のさやま園祭でも販売されたさやま園名物たくあんですが、皆さんはどのように召し上がりましたか？そのまま食べてももちろんごはんとの相性は抜群ですがひと手間加えることでさらに美味しくなる食べ方があるんです！

どれもとても簡単なのでぜひお試しあれ！

たくあん × ごま油 × かつおぶし

作り方はとっても簡単。細く切ったたくあんをごま油とかつおぶしで和えるだけ。たくあんの塩気とごま油の香りが食欲をそそります。
たくあんをごま油で炒めてからかつお節を混ぜても美味しいですよ。

たくあん × バター × かつおぶし

細く切ったたくあんにバターで軽く炒めてかつおぶしと和えるだけ。たくあんのしょっぱさとバターのまろやかな優しい味がごはんにもよく合います！

たくあん × チャーハン

チャーハンを炒める際にたくあんを一緒に入れるだけ。ポリポリとしたたくあんの食感が良いアクセントになります。

キムタクごはん

あの有名な俳優…!?と思いきや実は長野県の学校給食が生んだご当地グルメ。作り方は豚肉、長ネギ、キムチ、たくあんを炒めてごはん混ぜるだけととても簡単。長野県の学校給食では大人気のメニューだそうです。

いかがでしたか？

気になったメニューがありましたらぜひご家庭でお試しくささい！



「にやりほっと」

皆さん、「にやりほっと」という言葉を聞いたことがありますか？

現場であった「にやり」とした出来事^{できごと}や、心が温まる「ほっと」したこと等、利用者さんに関するエピソードをたくさん見つけることが「にやりほっと」だそうです。

さやま園でも利用者さんに関することの中で、微笑^{ほほえ}ましいなと思うこと、教わるエピソードなど、たくさんの「にやりほっと」が溢^{あふ}れています。

今回は、さやま園での「にやりほっと」のエピソードを紹介したいと思います。

T.Rさんという女性の利用者さんがいます。その女性は、言葉での会話は難しく、意思疎通^{いしそつう}はジェスチャーで伝えます。また、次の行動への気持ちの切り替えが早く、マイペースな方です。

そんなT.Rさんのある日の出来事^{できごと}です。彼女には、お昼ご飯の前に取り組む作業があります。上手にお仕事をする日もあれば、気が向かない日も……。気分屋な女性なんです(笑)

その日も、気分が乗らず作業が手つかず状態……。ボールを使って遊んだり、お話ししたりする等のやり取りもしましたが、すぐに飽^あきて終了……。

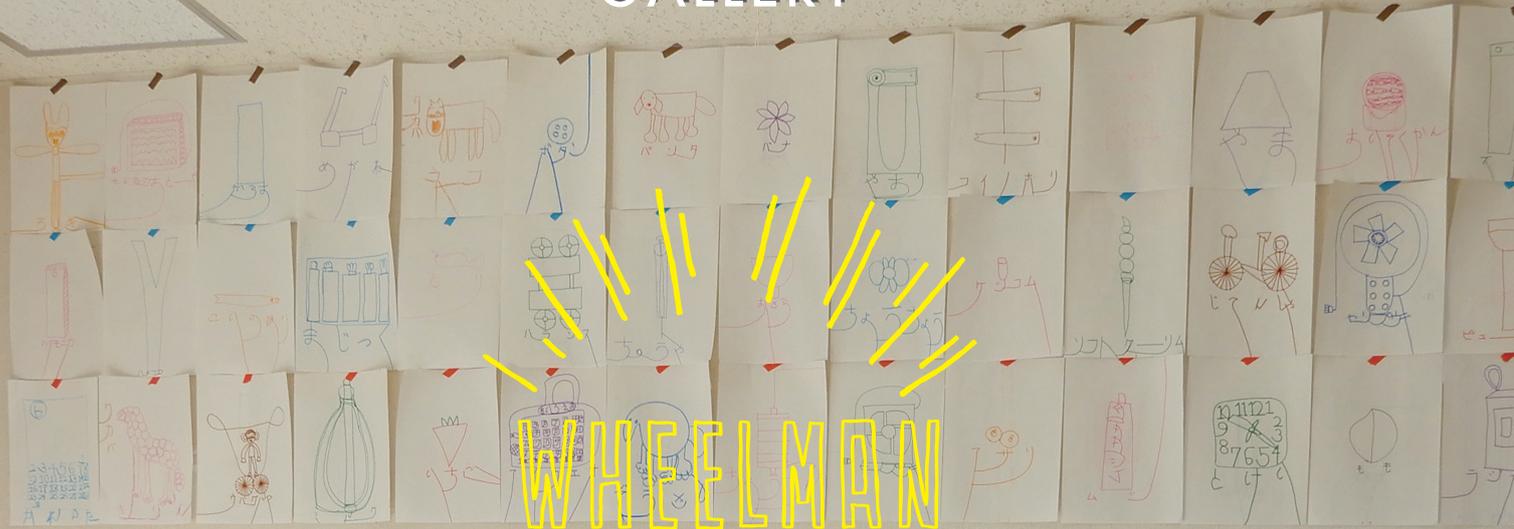
この日はほとんど何もできずに終わるのではないかと思い、私は見守りをしながらフロアの掃除をしようと思いました。掃除道具^{そうじどうぐ}を用意し、やり始めようとしたのですが……。T.Rさんが突然クイックルワイパーを持ったのです。そして、自ら^{ごらくしつ}娯楽室にある棚の方に行き、ホコリを払いました。そして、こちらを見ながらドヤ顔!

その行動と表情を見て、思わず笑いながら「ありがとう!」とお礼を言いました。

その後も、「どうだ、すごいだろ」というような表情をしながらお掃除!少ししたら、飽^あきてしまいましたが、彼女の表情や掃除を手伝ってくれた行動にグッときました。

このエピソードは、さやま園の一部であり他にもたくさん「にやりほっと」があります。「にやりほっと」を見つけると利用者さんも嬉しいと思いますし、私たちも楽しい気持ちになるので、皆さんもぜひ見つけてみてください。

GALLERY



さやま園のギャラリーは2ヶ月ごとに利用者を変えて作品を展示しています。



今回の展示では知る人ぞ知るさやま園のホイールマンを紹介しします。彼の持ち味は独特なタッチで絵や文字を書くこと。ぐるぐる回るものが大好きで、扇風機・換気扇・室外機など、毎日何十枚も絵を描いています。

彼の日常はさやま園の室外機を見に行くことから始まります。晴れでも雨でも構いつこなします。彼はぐるぐるをじっくり見つめて、何を考えているのでしょうか。「今日のはどんな絵を描こうか」「今日の回転は遅いなあ」「おやつはなんだっけ」「こんなかんじでしょうか。」「たららーらー たららーらー びぶでびぶでー」彼の中で最近流行っているシンデレラの呪文が聞こえてきます。

彼の描くものはぐるぐるだけではありません。何にも興味津々な彼は、気になったものはすぐに絵にします。そんな中の一部を皆さんにお見せします。

彼の描く独創的な絵から、彼の日常、頭のなかでぐるぐる回っている感情や思いを：ぜひ想像してみてください。

職員のつぶやき

先日、上野動物園にパンダを見に行きました。まだまだパンダの人気は続いていて雨の中30分程待ち、ようやくパンダの親子を見る事ができました。

赤ちゃんの頃に見に行った時はとっても小さく木の上でじっと休んでいてとてもかわいらしかったのが印象に残っていますが、今では、お父さん、お母さんと同じくらいの大きさになっていて笹をたくさん食べていました。元気に成長している姿を見る事ができてよかったです。

また、帰り道に通りがかって入ったカレーうどんのお店が凄く美味しくてそれもよかったです。かわいいパンダを見て、おいしいものを食べてよい休日になりました。

長瀬

編集後記

明けましておめでとうございます。

令和初めてのお正月となりました。皆さまはどのように今年を過ごそうとお考えでしょうか？さやま園では今年も楽しく目標に日々を生活できたらと考えています。

そして、さやま園でも年末に帰宅された利用者の方が少しずつ帰園されています。

年末・年始の静けさが嘘のように賑やかです。今年も賑やかで楽しいさやま園を目指していきたいです。今年もよろしくお祈りします。

カルミア内にひそむ“ミカメ”を探し、企画！
今号には3人の“ミカメ”が潜んでいます。
さあどこにいますか？

ミカメを探せ！



発行元：指定障害者支援施設 さやま園

発行責任者：荒井隆夫

住所：〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-7-13

TEL：042-391-3275 ・ FAX：042-391-3276

さやま園のホームページ

<http://www.sayamaen.com>

ブログ

<http://temae2016.jugem.jp/>

